



新明小だより

東松山市立新明小学校
学 校 だ よ り
7 月 号
令和7年6月19日



学校教育目標 やさしく・かしこく・元気よく

～ 新たな挑戦 明るい未来へ 希望あふれる新明小学校 ～ 校長 稲村 浩之

あじさいの大きゃくてん!!



今月末の学校公開（新明フェスティバル）に向けて、児童はアイデアを出し創意工夫をしながら友だちと協力し準備にあたっています。

集団で活動することの喜びや楽しさを味わってほしいと思います。

また、学校応援団や地域の子ども食堂、福祉協議会の皆様にも、ブースを出していただき、学校と地域が連携した行事になる予定です。

【 夢の宝箱を開こう ～あじさい（紫陽花）の大逆転～ 】～7 月のお話集会より～

梅雨を迎え、「あじさい」が咲く季節になりました。チューリップの原産地はトルコ、アサガオは中国、ひまわりは北米と言われています。

それでは、「あじさい」は、どこの国で誕生した花でしょうか？

実は、古くから日本で咲いていた花です。

私が小さい頃、祖母が「庭で咲いたのよ」と言って、両手いっぱいあじさいを抱えて突然訪ねてきたことがありました。突然の来訪に戸惑っている私に、祖母はこんな話をしてくれました。「昔はね、あじさいは葉や花の色が青や紫で地味だし、花びらが4枚で縁起が悪いって言われて、あまり好かれなかった。だけど、あるときから人気が出て、みんなに好かれるようになったんだよ。」

実は「あじさい」は、海外に渡ったことで、評価が大きく変わった花です。日本では地味に見えた花も、外国では明るく鮮やかな色をつけて咲き、人々の注目を集めました。あじさいの花の色は、育つ土の水質や性質によって変化することが分かり、この特徴が注目されて、あじさいの可能性が広がっていったのです。

その後、品種改良が進み、今では2000種類以上のあじさいが咲いています。かつては日本で好まれなかった花が、今では多くの人に愛されるようになりました。まさに『あじさいの大逆転』が起こったのです。

祖母は、当時悩んでいた私の様子に気づいて、あじさいを通して、「あなたにも変えられる力があるよ」と励ましてくれていたのかもしれない。

皆さんにも、あじさいのように、まだ見つかっていない素晴らしい可能性がきっとあります。心の中には「夢の宝箱」があり、その宝箱を開くカギは、自分を信じることです。勇気をもって何かに挑戦し続けることで、自分でも気づいていなかった素敵な色の花を咲かせることができるでしょう！

今年も、祖母の家のあじさいは、色鮮やかに咲き、見る人の心を爽やかにし、そっと勇気を与えてくれています。

終業式まで、いよいよ3週間をきりました。全員が笑顔で終業式を迎えられるように、一日一日を大切に過ごしていきましょう！

<校長室から> 大きく育てー 大きくなあれ！

2年生が生活科で野菜づくりに挑戦しています。野菜（トマト・なす・えだまめ・きゅうり）を植えて、友だちと協力して育てています。今日は、雑草抜きです。「大きく育てー、大きくなあれ。」と声をかけながら額に汗して頑張っています。夏には、美味しい野菜がたくさん収穫できることを願っています。

